



平成27年10月26日

各位

上場会社名 株式会社 カワタ
 代表者 代表取締役社長 白井 英徳
 (コード番号 6292)
 問合せ先責任者 取締役管理部門統括 白石 互
 (TEL 06-6531-8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年8月28日に公表した連結業績予想及び平成27年5月14日に公表した個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	410	375	610	86.13
今回修正予想(B)	9,088	603	602	825	116.49
増減額(B-A)	288	193	227	215	
増減率(%)	3.3	47.1	60.5	35.2	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年3月期第2四半期)	7,607	294	254	155	22.01

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,600	820	750	840	118.61
今回修正予想(B)	17,700	850	780	860	121.44
増減額(B-A)	100	30	30	20	
増減率(%)	0.6	3.7	4.0	2.4	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	17,242	755	714	427	60.35

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,200	50	70	50	7.06
今回修正予想(B)	4,545	194	183	152	21.46
増減額(B-A)	345	144	113	102	
増減率(%)	8.2	288.0	161.4	204.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年3月期第2四半期)	3,525	33	47	38	5.37

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,400	100	185	145	20.47
今回修正予想(B)	8,700	240	290	240	33.89
増減額(B-A)	300	140	105	95	
増減率(%)	3.6	140.0	56.8	65.5	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	7,557	54	160	91	12.86

修正の理由

【個別業績】

個別の第2四半期累計実績につきましては、日本経済の景気回復に伴う需要増に加えて、東アジア向けの電子部品関連の大型受注案件が寄与し、売上高は、前回予想を345百万円上回る4,545百万円となる見込みです。損益面におきましても、売上高増加に伴う売上総利益の増加や原価低減等により、営業利益は前回予想を144百万円上回る194百万円、経常利益は前回予想を113百万円上回る183百万円、四半期純利益は前回予想を102百万円上回る152百万円となる見込みです。

通期につきましては、日本経済は回復基調ではあるものの、生産や輸出に弱さが見られるようになり、設備投資にも一部で慎重な動きが見られることより、年度後半は若干の減速を予想し、売上高は前回予想を300百万円上回る8,700百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加、株式会社カワテクノサービスをはじめとする子会社からの受取配当金の増加等により、営業利益は前回予想を140百万円上回る240百万円、経常利益は前回予想を105百万円上回る290百万円、当期純利益は前回予想を95百万円上回る240百万円となる見込みです。

【連結業績】

連結の第2四半期累計実績につきましては、前述の個別業績の要因と同様に、日本国内の設備投資回復と東アジア向けの電子部品関連の大型受注案件が寄与し、売上高は前回予想を288百万円上回る9,088百万円となる見込みです。損益面におきましても、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を193百万円上回る603百万円、経常利益は前回予想を227百万円上回る602百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を215百万円上回る825百万円となる見込みです。

通期につきましては、米国の利上げの影響や新興国経済の減速懸念等、世界経済を取り巻く状況は不透明感が強まっており、当社におきましても、年度後半は中国における成長率の低下、日本や東南アジアにおける景気の足踏み等を予想しております。売上高は前回予想を100百万円上回る17,700百万円となり、損益面におきましては、営業利益は前回予想を30百万円上回る850百万円、経常利益は前回予想を30百万円上回る780百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を20百万円上回る860百万円となる見込みです。

以上